

平成22年度 事業計画

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

社団法人堺観光コンベンション協会は、堺市及びその周辺地域の観光に関する事業並びにコンベンションに関する事業の振興を図り、もって堺市の文化厚生の上上に寄与することを目的としています。

堺市では、昨年の10月より21世紀型コンビナート「グリーンフロント堺」が稼働いたしました。22年秋には、太陽光によるメガソーラー発電所の一部稼働が予定されるなど「環境モデル都市」として市内外から大きく注目をあびています。加えて、4月にオープン予定の日本最大の施設規模を誇る堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター（NTC）には、すでに年間約6,000件以上もの使用申し込みがあり、選手のみならず、スポーツイベント観戦を通じて多くの人々が堺市を訪れる見通しです。

一方、仁徳陵古墳に代表される百舌鳥古墳群は、古市古墳群と合わせ、国から「世界遺産暫定一覧表への記載が適当」と評価され、将来の世界文化遺産への登録に大きな期待が寄せられています。

また、昨年は、ベトナム総領事館、国連女性開発基金（UNIFEM、ユニフェム）日本事務所が開設されたほか、中世以来、堺とゆかりの深いアジアの国々が一同に会した「堺・アセアンウィーク」が開催されるなど、堺市は、国際都市として新たな一歩を踏み出しました。

政令指定都市として5年目となる22年度は、これらを基盤にして産業、スポーツ、国際都市として飛躍するため、国内外からの来訪者へのホスピタリティの向上を図るとともに、観光への誘導を行い、地域経済の発展に努めてまいります。また、情報発信やプロモーション活動を強化し、伝統産業と豊富な観光資源の有効活用を図ることで、「観光都市・堺」の魅力創出に取り組みます。

I 観光宣伝事業

経済波及効果の大きい宿泊ビジターを増加させるため、豊富な観光資源を活用した観光メニューの開発、積極的なプロモーション活動等を展開するとともに、海外ビジターの誘致も視野に入れた受入体制の整備、各種メディアを活用した情報発信などに積極的に取り組みます。

また、引き続き、伝統産業の体験メニューの開発をさらに進める一方、関係団体と連携し、臨海部に集積する先端産業を対象とした産業観光や、地場産業である自転車による観光周遊を推進するなど、環境モデル都市に相応しい観光PRの充実に努めます。

1 ビジターの受入体制

(1) 観光案内所の運営

堺東観光案内所、堺駅観光案内所及び大仙公園観光案内所において、来訪者に対

する観光案内、各種情報の提供、みやげ品の販売、観光レンタサイクルの貸出等を行います。また、観光ボランティアによるミニツアーの催行や案内所主催による1日観光ツアー、「いけばな体験」、「お香クラフト」など、観光客の伝統文化体験の基地としての活用に取り組み、もてなしの向上に努めます。

① 堺東観光案内所（堺市役所前 博愛ビル1階）

堺市の玄関口にある中核的案内所としての役割を担うとともに、堺市優良観光みやげ品の販売等を通じ、堺の文化や伝統産業等の情報発信を行います。

また、JR堺市駅に設置した観光情報BOXからの問い合わせにも対応します。

② 堺駅観光案内所（南海堺駅ビル1階、2階）

●関西国際空港やシャープ堺工場に最も近く、ビジネス関係のビジターが増加しており、それぞれの利用者のニーズにあった案内業務の充実を行います。

●関西国際空港株式会社が実施する「トランジットツアー」の立ち寄り先として、参加者の受け入れに対する協力を行います。

●「いけばな体験」、「お香クラフト」などのイベントを開催し、観光客に伝統文化体験や交流の場を提供します。

●パネルの活用

・「与謝野晶子の文学碑めぐり」のパネル掲出により、堺周遊観光へ誘導します。

・堺観光記念撮影用バックパネル（堺市博物館所蔵「南蛮屏風」画像）の活用と南蛮衣装の貸出しにより、堺の歴史を体感していただきます。

③ 大仙公園観光案内所（大仙公園前レストハウス内）

仁徳陵古墳をはじめ、百舌鳥三陵が、大仙公園の間近に位置しており、訪問者が増加の傾向にあります（下記表参照）。今後、みやげ品販売の充実などサービスの向上に努めます。

●各観光案内所来訪者数 比較（参考） （単位：人数）

	堺東	大仙	堺駅	合計
19年度	11020	9167	9970	30157
20年度	11516	9574	13229	34319
21年度	13640	10463	13052	37155

※6月～翌1月まで統計比較

(2) 堺市役所高層館21階展望ロビーの活用

21階展望ロビーは、市内外からのツアーのほとんどが集合拠点、立ち寄り場所に利用するなど人気観光スポットとなっていることから、年々来訪者が増加しており、引き続き堺市から賃借して誘客に活用します。

年間来場者数

平成19年度 179,905名

平成20年度 239,686名

平成21年度 231,502名（平成21年4月1日～2月末 現在）

① 観光案内等

来訪者を市内観光に誘導するため、引き続きNPO法人堺観光ボランティア協会と連携し、ガイドを配置するなどし、サービス向上に努めます。

② 喫茶コーナーの運営

喫茶の運営を委託し、来訪者の休憩の場を提供します。

③ イベントの開催

音楽コンサートや市民参加型のイベントなど市民の憩いの場としても活用します。(21コンサート、VIEW21コンサート等)

(3) NPO法人堺観光ボランティア協会との連携

観光資源に対する知識と経験が豊富なNPO法人堺観光ボランティア協会に委託し、引き続き主な観光スポット(仁徳陵古墳、市役所高層館21階展望ロビー、南宗寺、山口家住宅など)でのガイドを行うほか、好評を得ているバスツアーへの同乗ガイドの一層の活用を図り、来訪者の満足度向上に努めます。

また、同協会のガイド育成や知識の向上を図るため、引き続き助成を行います。

(4) 観光レンタサイクルの運営

引き続き、堺東及び大仙公園観光案内所(堺駅観光案内所については、22年度中に市で導入が予定されているコミュニティ・サイクル事業へ移行)、自転車博物館並びに堺ホテル協会加盟各ホテルで貸し出しを行います。また、コミュニティ・サイクル事業との整合を図るため、利用料金の統一を図り利用者の利便向上に努めます。

環境モデル都市認定を踏まえ、環境にやさしい乗り物である自転車による観光周遊の魅力をアピールするとともに、協会ホームページや各種メディアとのタイアップによるPRを図ります。

(5) 観光タクシーの利用促進など

平成21年度から、気軽に市内観光が可能な観光タクシー制度をスタートし、観光案内所、ホテル等でPRに努めています。平成22年度も、一層の利用促進に取り組めます。

2 誘致プロモーション活動・観光宣伝活動

(1) 魅力的な観光メニュー・旅行商品の提供

百舌鳥古墳群、神社仏閣や歴史的建造物など豊富な歴史遺産、茶の湯の文化、伝統産業等の資源を活用した観光集客に取り組めます。

加えて、市、堺商工会議所、企業と連携し、先端産業の集積を活用した産業観光の推進に取り組むほか、自転車を活用した環境にやさしい観光を進めてまいります。

また、市等と共同で行う春、秋の文化財特別公開事業や周辺自治体及び関連業界と連携した旅行商品の企画を推進します。

(2) 「堺e c o観光」の推進

平成21年6月に、堺市・JR西日本・南海電鉄・阪堺電気軌道の連携による、地球環境に優しい交通機関である鉄道と散策・サイクリングに着目した「堺e c o観光」がスタートし、主要観光施設への訪問者増加に寄与しています。今年度も引

き続き、「堺e c o観光」の推進に協力していきます。

(3) 堺観光周遊バス助成制度

市内での食事、観光スポットや観光推奨土産品販売店への立寄りなどを条件に、バス1台につき、その借上費用の最大で2分の1を助成し、市内を訪れる観光ツアー数を増加させるとともに、その催行にあたって発行されるチラシやパンフレットによる堺観光のPRの発進を図ります。

18年度の開始以来、毎年着実に利用者を増やしており、現在までに旅行事業社約80社(約130事業所)が、堺観光ツアーを実施しています。

- ・バス助成金対象利用数 177件 6,686人(平成22年 1月末現在)
- ・バス助成金対象外利用数 100件 3,286人(平成22年 1月末現在)

平成22年度は、この制度を拡充・実施し、堺観光の魅力を情報発信します。

(4) 協会ホームページの充実掲載

引き続きホームページの充実をはかり、堺観光の魅力を発信を強化します。サイト訪問数(平成21年8月1日～1月31日 141,741件 ※HPリニューアルの為8月よりのデータ)をさらに増やすために、見やすく、楽しく、かつ役に立つサイトづくりに努めます。また、ホットでタイムリーな情報発信に取り組むほか、外国語表記(繁体字・韓国語)の追加や産業観光ページの新設、対象・手段・所要時間別の「おすすめ観光モデルコース」の提案、コンベンション情報ページの充実などをおこないます。○協会HPアドレス <http://www.sakai-tcb.or.jp/>

(5) ファムトリップの実施

堺市、関西国際空港株式会社をはじめとした関係団体・機関と連携し、堺へのファミトリップを実施します。特に旅行者等に対し旅行商品化に向けて堺の観光魅力である歴史文化、伝統産業に加えて新たな産業観光施設等のPRを行います。

また、大阪府、財団法人大阪観光コンベンション協会、堺市と連携し、国のVJC(ビジットジャパンキャンペーン)事業の一環として、訪日教育旅行の誘致活動を行います。

(6) 各種メディア活用に対する情報提供

市外へ観光魅力を発信するとともに、都市イメージの向上を図るため、適宜各種メディアに対する観光情報やイベント情報を提供するとともに、観光イベント情報誌(紙)等への取材協力、テレビ等のロケーション撮影の支援活動を行います。

- ・テレビ大阪 おとな旅あるき旅(H21.6.13 18:30～19:00 30分)「堺を観光」
- ・日本テレビ ザ鉄腕ダッシュ(H21.6.28 19:00～19:58 8分30秒)「歴史探偵」
- ・産経新聞 朝刊(H21.10.2)「堺観光タクシー」～乗務員がガイド、短時間で名所めぐり～
- ・読売新聞 朝刊(H21.10.17)「ザビエル子孫 エコ伝道」～堺に新キャラきょうデビュー～
- ・朝日新聞 朝刊(H22.1.27)「観光案内所が新サービス」～堺駅でパバーンと南蛮ドライブ～ほか。

(7) その他のプロモーション活動

○チケットやクーポン、チラシの提示による割引サービス

- ・ 堺市茶室「伸庵」：呈茶料金の20%OFF（まんぷくチケットは、100円引き）
スルッとKANSAI（2day3dayパス）、
eco観光チラシ、JAFカード（日本自動車連盟）、
VISIT JAPAN ウィンターキャンペーン（HPよりクーポン）

(8) 観光みやげ品の推奨及び販売等

① 堺市優良観光みやげ品の推奨

協会が推奨する第21回堺市優良観光みやげ品（61社、100品目）について、平成21年4月から2年間、協会ホームページ等のPRツールで紹介するとともに、各種イベントやプロモーション活動をはじめ関連事業者、関係機関の協力を得て、引き続き広く市内外にカタログを配布し、販売の促進につながるよう努めます。

また平成22年度中に「第22回堺市優良観光みやげ品」の選定を行います。

② 観光案内所での販売・PR

各観光案内所に観光みやげ品のカタログ等を配置し、紹介を行うとともに、堺東観光案内所と大仙公園観光案内所において一部商品を販売します。

③ その他の販売等

- ・ 各観光案内所において、絵はがき等協会商品の販売を行います。
- ・ 観光名刺の製作・販売
観光名刺（仁徳陵古墳、堺市茶室、旧堺燈台、堺まつり、日本庭園）を製作し販売します。
- ・ 堺市産業振興センター内ショップ「アピール」に協会商品の販売を委託します。
- ・ 各種イベントやプロモーション事業において展示販売を行います。

(9) 各種PRツールによる情報提供等

○ パンフレット等の作成

堺の観光イメージの発信を図るため、「百舌鳥古墳群めぐり」「与謝野晶子文学碑めぐり」「堺市茶室」を中心に、印刷物を企画・製作します。おいでよ堺21実行委員会が製作する「堺観光マップ」、「堺まちあるきマップ」とあわせ、各観光案内所、各市内観光施設、市内宿泊施設、阪堺電気軌道各停留所等に配置するほか、市内企業や商店等への配置を行い、広く堺の観光PRを行います。

○ 関係団体・機関等への情報提供

旅行者、鉄道事業者など関係団体・機関等と情報を共有するとともに、その協力を得て、広く市内外での観光PRを推進します。

○ 記録媒体の貸出（提供）

堺をPRするため、写真（画像データ、ポジ）等の貸出し（提供）を行います。

(10) 観光客向け食事場所の開発

団体ツアー客の受入れが可能な食事場所や堺観光の特徴を備えた、個人（小グループ）向けの食事の開発を行い、地産地消を進めるとともに、誘致プロモーション活動での活用を図ります。

(11) 観光関連事業及び行事への参画

- 西高野街道観光キャンペーン事業への参画
 - 堺大魚夜市への参画
 - 堺旧港観光市場への参画
- ほか

(12) 民間主導イベント等の企画・誘導

堺の観光振興に資するPR力の高いイベント等を、民間活力の活用により企画・誘導に努めます。

(13) その他

コルトン（電照看板）の掲出

堺駅観光案内所への誘導ツールとして、南海堺駅ビル内において、コルトンを掲出します。

3 都市交流等促進事業

(1) 国内友好都市や政令指定都市との交流

種子島「鉄砲まつり」、「仙台・青葉まつり」等に参加する一方、「堺まつり」への招待を行い、堺市の友好都市や政令指定都市等との交流活動を行います。

(2) 他都市交流使節「エンゼル堺2010」の設置

「エンゼル堺2010」を3名以内で公募します。6月1日から翌年5月31日までの任期で委嘱し、市内外の都市交流活動を通じて諸外国並びに他都市との友好親善を深めるとともに、堺市の観光及び文化の魅力を伝える情報発信を行います。

- 主な活動
 - ・種子島等の他都市との交流活動
 - ・内外来訪者との交流活動
 - ・観光PR事業など本協会が主催・共催・後援する事業や行事における派遣・PR活動
 - ・公的行事等の派遣活動 など

4 観光・文化行事に対する支援

「こおどり」や「ふとん太鼓」等の伝統的行事の保存・育成に対する助成や各種団体が開催するコンベンション・文化行事に対する後援・協賛を行います。

5 関係団体・機関等との連携強化

- (1) 大阪府、財団法人大阪観光コンベンション協会との連携強化
- (2) 他都市や市内外民間施設等との連携による広域観光の推進
- (3) 大都市観光協会連絡協議会への参加
- (4) おいでよ堺21実行委員会への参画
- (5) 観光・文化関係団体や事業者等との連携強化

II 堺まつり事業

昭和49年（1974年）に始まった堺まつりは、先人が築いてきた歴史と文化を継承し、堺の都市魅力を広く内外に情報発信するとともに、観光誘客を図ることにより、地域経済の活性化、文化の振興、市民の郷土愛の醸成に寄与することを目的として開催する市内で最大のイベントです。

この間の社会情勢や観客の嗜好の変化に合わせ、適時、内容の見直しを図ってきましたが、シャープ株式会社の液晶パネル工場の稼働や堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンターのオープン、メガソーラー発電所の一部稼働が予定されることをはじめ、ベトナム総領事館、国連女性開発基金日本事務所の開設や「堺・アセアンウィーク」の開催などの状況を踏まえ、第37回「堺まつり」では、世界へ飛翔する堺の姿を市内外に広く伝えてまいります。また、より幅広い展開を図るため、「ザビエコくん」の着ぐるみを活用した市内各所でのPR展開や、各会員企業・商店による協賛商品の販売・事前PRなどに取り組んでまいります。

○第37回「堺まつり」

1 大パレード

(1) 日 時

10/17日（日）11:00 開始

(2) 場 所

大小路筋（シンボルロード）

(3) 内 容

安土・桃山時代の文化を中心とした歴史、伝統色を打出す一方、「環境モデル都市」として新しい堺の魅力を盛り込んだ演出を行います。

○ 概略

堺の歴史、文化（なんばん衣装行列・時代衣装行列・火縄銃隊・ふとん太鼓）、現在そして未来に向けた政令指定都市としての発展（政令指定都市交流、国際交流、市民参加）など堺の魅力を演出します。

2 なんばん市

(1) 日 時

10/16（土）10:00～20:00

10/17（日）10:00～18:00

(2) 場 所

ザビエル公園（堺区櫛屋町西1丁）

(3) 内 容

商人のまちで栄えた中世の楽市・楽座の復活を演出し、地場産品即売市や飲食ブース、各種PRブースをはじめ、各種団体によるステージを展開します。

3 利休のふるさと堺大茶会

(1) 日 時

南宗寺会場 10/16（土）9:00～15:30

10/17 (日) 9:00~15:30
大仙公園会場 10/16 (土) 10:00~15:30
10/17 (日) 10:00~15:30

(2) 場 所

南宗寺山内 (堺区南旅籠町東3丁1-1)
大仙公園内 (堺区百舌鳥夕雲町2丁)

(3) 内 容

利休により大成された茶道文化を誇りとして受け継ぎ、茶会を通じて観光振興を図ります。

① 南宗寺会場

三千家による本席・野点席を催します。

② 大仙公園会場 (堺市茶室「伸庵」を含む。)

大学及び幼稚園による野点席、煎茶団体による煎茶席を催し、琴や尺八による箏曲の演奏等、伝統文化を活用した魅力の向上に努めるとともに、和菓子の販売を行います。

4 前夜祭

(1) 日 時

10/16 (土) 18:00~20:30

(2) 場 所

堺市民会館大ホール (堺区翁橋町2丁1-1)

(3) 内 容

民族舞踊などのパフォーマンスをはじめ、メインとなる催しについては、話題性と集客性の高いステージを企画します。

5 ミニステージ (新企画)

(1) 日 時

10/17 (日) 12:00 開始

(2) 場 所

パレード周辺各所、商店街内など

(3) 内 容

ミニステージやストリートパフォーマンスなどを行うことにより、より広域な地域でまつりの賑わい感を創出します。

6 エコブースゾーン

第36回堺まつりで市民・企業と協働して好評を得た「エコブースゾーン」を引き続き実施し、「環境モデル都市」としての堺の魅力を発信します。

7 その他

(1) 事前PRの充実 (新企画)

従来のみまつりポスターを市内各所で掲出するのに加えて、パンフレットを大型化し情報量を増やすとともに、事前に堺市内各所で配布します。

また、堺まつり直前に、テレビ局の情報番組でまつりの告知を行い、市内外の視聴者に対して行ってみたい・見てみたい感を醸成し広域からの集客を図ります。

(2) 「堺まつり」のホームページによる情報発信

昨年に引き続き、「堺まつり」のオリジナルホームページの開設により、募集や告知、進行状況、アクセスについての詳細をリアルタイムに多くの方々に発信し、誘客につなげます。

(3) 各種タイアップ企画

各種協賛行事等とのタイアップ企画を通じ、市内外からの集客や話題性の向上を図ります。

Ⅲ コンベンション事業

観光庁では、2010年を「Japan MICE Year」として国内外に向けて集中的なプロモーションを展開します。加えて、本市では4月に堺市立サッカー・ナショナル・トレーニングセンターがオープンし、ますます交流人口が増加すると見込まれています。

協会では、平成21年度の日本女性会議、日本水道協会総会での経験を踏まえ、開催されるサッカー大会への支援をはじめ、各種スポーツ大会や国内外の会議の誘致・支援活動を通じて、堺の都市魅力を国内外に情報発信するとともに、市内ホテルと連携して、経済波及効果の大きい宿泊ビジターやリピーターの獲得を図るなど、地域経済の活性化や文化の振興を進めてまいります。また、関係団体・機関等との連携による情報収集を強化し、的確で効果的な誘致活動を展開します。

1 コンベンション誘致事業

(1) 開催団体等への誘致プロモーション活動

観光誘客と一体的に、開催団体や旅行者等へのプロモーションやセールス活動を行います。また、国内外の会議やスポーツ大会等について、実績のある開催団体の定着を図るとともに、コンベンショントレードショー（IME）や商談会等に参加し、新規コンベンションの獲得に向けた誘致活動を行います。

特に、全国各地から堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンターを訪れる施設利用者に対し、市内観光や食事・宿泊などに誘導する仕掛けづくりを行います。

(2) 堺市コンベンション開催補助金制度の活用等

コンベンション開催経費の2分の1を上限として、一定の要件のもと市内延宿泊者数に応じた助成を行う「堺市コンベンション開催補助金制度」を活用した誘致活動を行います。

【コンベンション開催助成制度】

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
開催補助制度件数	23	27	32

(3) コンベンションメニューの充実

開催団体のニーズに応じて、また、インセンティブツアーの誘致も視野に入れ、

ユニークレセプション会場や多様なアフターコンベンションのメニュー開発など、コンベンション都市としての魅力向上を図ります。

(4) PRツールの作成

コンベンション補助金制度の内容等を紹介するパンフレットを、宿泊施設や体育館等のスポーツ施設と連携して作成し、他の観光PRツールと合わせて、誘致プロモーション活動に活用します。

2 コンベンション支援事業

堺市で開催されるコンベンションを成功に導くため、開催団体や参加者に対して各種支援サービスを行います。

(1) 計画・準備段階での支援

- ① 会場や宿泊施設、観光等に関する資料の提供
- ② 開催会場等の事前視察の受入
- ③ 会場や宿泊施設等の確保・調整
- ④ 堺市コンベンション開催補助金制度の紹介
- ⑤ 後援名義の依頼や各種許認可など行政との連絡調整
- ⑥ 開催コンベンションの広報・宣伝
- ⑦ 関連事業者の紹介

(2) 開催中・開催後の支援

- ① 観光パンフレット等の提供
- ② コンベンションバッグの提供
- ③ アフターコンベンション等の企画・手配
- ④ 観光案内デスクの設置や土産品販売の出店等の調整

3 広報宣伝・調査研究

(1) コンベンショントレードショーへの出展

国内唯一のコンベンション総合展示会「国際ミーティングエキスポ（IME）」に出展し、コンベンション誘致に向けたPR活動や情報収集を行うとともに、事前の開催予定等の調査に基づき具体的な誘致活動を展開します。

(2) 協会ホームページでの情報提供

コンベンション施設の概要やコンベンション支援事業、コンベンション開催状況、エクスカージョン等について、ホームページでの情報発信を行います。

(3) 関係団体との連携強化

JNTO（日本政府観光局）、JCCB（日本コンGRESSコンベンションビューロー）、近畿コンベンション連絡会等、関係機関との連携を強化し、コンベンション誘致のノウハウを蓄積するとともに、国内外のコンベンションの情報交換を行います。

IV 茶室事業

1 堺市茶室における管理運営の受託

堺市が所管する堺市茶室「黄梅庵」、「伸庵」及び庭園（堺区百舌鳥夕雲町2丁・大

仙公園内)の管理運営を行います。

2 「茶の湯」文化の振興

今日の茶道を大成した千利休生誕の地として、「茶の湯」によるもてなしを行います。

呈茶事業

茶室「伸庵」の立礼席において、観光客等を対象とした呈茶サービス（抹茶干菓子付）を実施します。

3 広報宣伝活動

堺ならではの観光魅力の一つである「茶の湯」文化について、協会ホームページやパンフレットによる情報発信を行うとともに、各種プロモーション活動やイベント等においても積極的なPRを行い、利用促進を図ります。

また電鉄会社発行の1日乗車券など民間商品やJAFなどの会員サービスと提携し、割引を行い、誘客に努めます。

V 会員サービスの充実

会員サービスを充実させるとともに、協会活動の広報、協会事業への参加を呼びかけるなど、関係団体等の協力も得ながら、新規加入会員の増加に努め、協会組織の強化を図ります。

(1) 情報紙の発行

会員向け情報紙「あせんぶる」を発行（年2回）し、コンベンション情報のほか、堺観光や協会事業の現状等の情報発信を行い、紙面の充実を図ります。

(2) 観光コンベンションの情報提供

観光・コンベンションの各種情報について、協会ホームページ上でリアルタイムな情報提供を行います。

(3) 会員情報の発信

協会ホームページにおいて、会員紹介を行うとともに、観光及びコンベンションに寄与する会員情報を発信します。

(4) 情報交換等の場の提供

観光及びコンベンションの振興に向け、会員相互の情報交換等を促進します。